

# 都市緑化を推進して60年 緑の輝く素敵な まちづくりに取り組む

東京都公園協会

東京都公園協会（新宿区、飯尾豊理事長、03・3232・3099）は、平成26年2月に創立60周年を迎える。また、戦後の復興間もない時期に当時としては先進的な「利用者本位の都民サービス」を機軸として、さまざまな公園施設の管理、緑化推進を事業の大きな柱に位置づけてきた。

近年の東京は、公園や街路樹など公共の緑は増えているのに対し、「民有地」の緑は建物の建替に伴って減り続け、その結果、都全体の緑は年々減少している。同協会では、これに対し「東京都都市緑化基金」を中心に、さまざまな施策を推進している。

その柱となるのが、緑化助成事業と緑化普及事業。緑化助成事業では、緑化効果の高い民間施設に



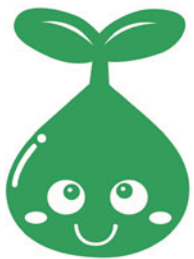
医療・福祉など施設の緑化助成

対して支援を行っており、平成24年度までの助成件数は1080件にのぼる。助成金額は1カ所200万円を上限として、緑化工事の費の2分の1を補助する（要件あり）。建て替えて緑化面積を増やそうと考えるマンションや今話題の壁面緑化などの物件も対象だ。制度を利用して、地域の皆様に緑のある生活を楽しんでみてはいかがだろうか。一方の緑化普及事業では、市民の緑化活動の発表の場である日比谷公園ガーデニングショー（10月開催）の支援や、幼稚園や学校などに花の球根配布を行っている。

商店街や町会などの緑化をワークショップ形式で進める「まちなか緑化活動支援事業」にも取り組み、緑を介したコミュニティの形成を図る新たなまちづくりの手法として注目されている。また、人づくりにも力を入れ、都市整備や造園業を生業とする人たちを対象に、緑をきっかけとしたまちづくりの専門家として認定する「まちなか緑化士」制度を創設した。

緑あふれる東京都をめざす活動の詳細は、ホームページへ。

<http://www.tokyo-park.or.jp/profile/>または「東京都都市緑化基金」で検索！



東京都都市緑化基金キャラクター「ふたばちゃん」(上)  
花の種など緑化普及の各種グッズ(右)